

進路指導室から 第353号

はじめに

新型コロナウイルスの感染拡大が続いています。収束に向かっていただけに、また、「振り出し」に戻ったような気持ちです。

さて、大学入学共通テストが目前に迫ってきました。教科担当者（公民科）として、大学入学共通テストに対応した授業や補習等ができたのだろうか、進路指導部の一員として、適切な情報を提供できたのだろうかと気になっています。それでも、可能な限り、生徒たちが無事に受験を終えることができるよう支援していきたいと考えています。



「山口和士先生の檄文」について

学研の大堀 精一先生経由で、かつて群馬県の校長先生を務められた後、日本進路指導推進協議会の会長として、現在も高等学校の進路指導の指針を示していただいている山口 和士先生の「檄文」が届きました。「檄文」には、山口先生の若い世代に対する思いが込められています。

「一陽来復、虎嘯風生。災禍を超え必ず幸いが訪れる。いざ、恐れず前へ、堂々と未来を拓け！」年若き同志達へ

2022年新春 檄文 一教師 山口 和士

天には今日も悠久の「星」が輝き、地上に吹き抜ける風にも、万世の「気」が満ちている。古来人間は、計り知れぬ暗黒、無情の災禍に怯え、我が身の無力さに何度も打ちひしがれた。しかし、それでも諦めず、智慧（ちえ）を究め、学問を開き、星をめざし、太陽をめざし、幾多の未知に挑み、ここまで生き延びてきたのは何故か。「命」が、「生」が美しいからだ。我々はその末裔（まつえい）なのだ。「光」を求めてやまないこの内なる激情を我々人類は「誇り」に思って闘ってきた。私もその一人だ。

年若き同志たちよ、パンデミックな感染の嵐が2年にわたり世界中を吹き荒れている。しかし、恐れてはならない。人類は結核、マラリア、天然痘、ペスト、新型インフルエンザ、エイズ、SARSと何度も滅亡の危機に瀕した。しかし、科学的な技術や見識が何もない時代にも、その度に、勇気ある者達が、敢然と見えない「闇」に、ウイルスに挑み、時代を拓いてきたではないか。今も、我が数千人の教え子達は医療人として、それを支える仲間として、あらゆる産業を担いながら、白衣の天使達とともに全世界で闘っている。諸君よ、年若き仲間達よ、彼らを信じよ。共に闘う先達が、君たちを待っていることを信じよ。だからこそ、君よ、果てない世界にいかなる困難があろうと、恐れず前を向け！若き時は二度とは帰らぬ。時の流れは瞬間に君を大人にするだろう。それが何だというのだ。人間に与えられた時間は、運命の火に平等に照らされている。臆してはならない。未来への闘いに背を向ける者に、未来は決して微笑まない。一步でも前を、未来を見つめる「勇気」ある者にのみ、「時」の扉は意味ある「場所」を諸君に与える。己の道を信じよ！もし、その道が見えぬというのなら、足下を照らす先達の「灯」を信じよ！

「一陽来復」（いちようらいふく）、冬が過ぎれば、幸満ちる春は必ず訪れる。「虎嘯風生（こしょうふうしょう）」、虎は吠えて風が起きる。隠れた才能、技能は、機会を得て奮起してこそ道は生まれる。諸君もまた、勇気ある白き虎ではないか。ならば、堂々と「声」をあげ、一気にその存在を知らしめよ。

私もまた18歳で、美しい故郷、みちのくの大地を後にし、「志」のために全てを賭けて生きてきた。諸君よ、故郷の山や河、島々、大海の神々は、君の勇気ある挑戦を必ず、喜んで見送ってくれるはずだ。

年若き同志達よ！理不尽な波は、幾度となく押し寄せ、若き君の前に立ち塞がるだろう。しかし、その壁にひるまず挑む者のみに、天は力を与える。未来を信じよ！己の心の剣を抜き、天に高く掲げよ！周囲を見よ！共に未来に挑もうとする仲間達が、固く握った拳（こぶし）を天に差し上げ、邪悪な闇を打ち破り、道を拓こうとしている。それ以上の何があるのだ。諸君よ、君は孤独ではないはずだ。新たな純白の価値観を旗印に、無心に「気」を高め、仲間と共に怒濤のように荒野を、大海原を割って進むのだ。

思えば、この国は何度も愚かな騒乱の嵐や天災に、血の涙を流した。しかし、小さな島国日本を、いつも救ってきたのは、逆境の中から這い上がり、この世の理不尽や偽物の権威に堂々と戦いを挑み、未来への

「光」を信じた、「若者」であった。君もまたその一人ではないか。今こそ君の力が求められている。

諸君よ、君は何のために学ぶのか。「ただ、自らの未来のために」とのみ応えるのなら、それはあまりに悲しく寂しいことだ。君が全てを賭けて挑む「未来」には、必ず己を賭ける価値がある。君を待っている未だ見ぬ友、恋人、家族、仲間、民人（たみびと）のために、君が出遭う全ての者達のために、今こそ堂々と「天」に恥じない勝負をせよ！それが「学ぶ」ことの、「生きる」ことの意味であり、何世代にもわたって血流に刻まれた遺伝子の、何億光年にも連なる「未来を拓く意志」なのだ。

大学入学共通テストは、年若き同志たる君の「真理」を自ら追求するための、最初の関門。平常心で、いつもどおりの姿勢でペンを握り、焦らず、慌てず、冷静に問題に向かえばよいのだ。

年若き同志たちよ、忘れるな。諸君がいる限り「勇氣」は人々を導き、この国に「正義」は生き続ける。私は白髪になった今でも、一陣の風となって諸君とともにある。永遠なる気を高め、新たなる激流、混沌に立ち向かうために、烈風の凍土に足を踏み留め、天を見上げて「理想」という剣を掲げ、君を待ち続けている。年若き同志たちよ！たった今から諸君の時代が始まる。いざ！ともに未知なる世界に挑まん！

全国各高等学校3年生諸君の健闘を祈る！

「大学入学共通テストの受験に向けて」について

大学入学共通テストの受験に向けて、あらためて下記の内容について確認してください。なお、作成にあたっては、河合塾 k-net の「共通テスト出願ガイド」を参考にしています。

■ 持ち物の確認 : 前日と当日に確認をしよう

持ち物は早めに準備して、鉛筆等不足がある場合は買い足しておきましょう。忘れ物がないように、前日と当日の朝に確認をするようにしましょう。

〔持ち物チェックリスト〕

- | | | |
|--------------------------------|------------------------------|-------------------|
| 1 受験票・写真票 | 2 「受験上の注意」(大学入試センターより受験票と同送) | |
| 3 学生(身分証明)証 | 4 黒鉛筆(H、F、HBに限る) | 5 プラスチック製消しゴム |
| 6 鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類を除く) | 7 時計(アラームを消すこと) | |
| 8 携帯電話(アラームを消すこと) | 9 交通費(少し余分に) | 10 試験場までの地図 |
| 11 お弁当・飲み物 | 12 ハンカチ・ティッシュ | 13 マスク(予備も用意すること) |
| 14 受験票に「上履き持参」とあれば上履きと下履きを入れる袋 | 15 参考書 | |
| 16 (必要に応じて)眼鏡・目薬 | 17 (必要に応じて)カイロ・ひざ掛け・座布団・上着 | |
| 18 (必要に応じて)雨具 | 19 (必要に応じて)リラックスグッズ(お菓子など) | |

1については、受験票と写真票は切り離さず持参してください。万が一、試験直前に受験票を紛失してしまった場合(再発行が間に合わない場合)、早めに試験場に行き「仮受験票」の申請をする必要があります。

2「受験上の注意」については、事前に目を通しておくだけでなく、試験当日に所持していると安心でしょう。

4～7については、試験中に机の上に置けるものです。黒鉛筆は7～10本程度は用意したいものです。鉛筆削りを使用することが認められていますが、試験中にその余裕はありません。また、シャープペンシル(黒い芯に限る)はメモや計算用に用いることが認められています。しかし、マークシートを塗る際は鉛筆に持ち替える必要があり、時間のロスや持ち替え忘れのミスにつながりかねません。できるだけ、黒鉛筆のみで試験に臨むことをお勧めします。マークシート用の鉛筆・消しゴムも販売されていますので、活用してみるのもよいでしょう。

7の時計については、「辞書や電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの」「秒針音のするもの」「キッチンタイマー」「大型のもの」は認められていません。また、8の携帯電話とあわせてアラームの設定は出かける前にはリセットしておきましょう。また、当分、使用していなかった場合、止まってしまうことがありますので注意してください。(過去に、本校の生徒でもこうしたケースがありました。)

11については、お弁当や飲み物はできれば普段から食べ慣れている・飲み慣れているものを用意したいものです。また、休憩時間中の糖分補給にチョコレートなどを持参するのもよいでしょう。

15については、普段使い慣れたものを持参しましょう。当日に新しいことを覚えようとしても慌てるだけです。使い慣れたものを試験前に確認することで、緊張感も和らぐでしょう。ただし、あまりに多くを持ち込むのも考えものです。1教科1～2冊程度に留めた方が、直前に見直すことがはっきりして集中できます。参考書に代え

て、試験前用の復習ノートを用意しておいたという先輩もいます。いずれにしても、試験当日に何を持参するか、試験前に何を見直すかは、前日ではなく数日前に決めておくとよいでしょう。

16については、眼鏡を試験時間中にかける場合は、受験票と写真票の写真は、眼鏡をかけて撮影したものを用意する必要があります。もし、コンタクトで受験予定だったにもかかわらず、調子が悪く急遽眼鏡を必要とする場合は、試験監督者に申し出ましょう。なお、「耳栓」は試験中に試験官の指示が聞き取れないことがありますので使用が認められていません。

17については、試験会場や教室内の座席によっては、想像以上に寒いことがあります。試験室内の換気として窓の開放等も行われるため、試験を快適に受験できるよう準備しておくとい良いでしょう。ひざ掛けや座布団の使用を希望する場合は、試験監督者に申し出れば使用が可能です。服装も温度調節しやすいものを選択するとよいでしょう。また、意外と足元が冷えることもありますので、靴下は複数枚、用意しておいた方がよいでしょう。

また、新型コロナウイルスの流行により、マスクの着用が必須とされています。病気・負傷や障害等によりマスクの着用が困難な場合は、事前の申請が必要です。事前申請のない人が当日マスクを着用せずに受験することはできませんので、十分に注意してください。念のため予備のマスクも持参しましょう。

■ 試験会場を確認 : 会場には1時間前の到着を目安に

できれば事前に試験会場の下見をしておきましょう。当日初めて試験会場に向かうのでは、予想以上に時間がかかったり、受験する教室が分からず迷って遅刻ということにもなりかねません。下見ができない場合には、電車の時刻や所要時間、会場までの道のりを事前に確認しておきましょう。共通テストは土・日に実施されるため、交通機関の運行ダイヤが平日と異なる場合があります。下見をする際にもこの点に注意が必要です。

また、当日に雪が降るなど気象による交通機関への影響も考慮し、リスクの少ない経路を選びましょう。前日から気象・交通情報はチェックしておきましょう。

当日は交通機関の遅延なども考慮して、1時間前には試験会場に着くよう余裕をもって家を出発しましょう。早く着くことで、試験場の雰囲気にも慣れ、心に余裕がうまれます。万が一、電車が事故や雪で遅れるなど不測の事態があった場合、試験時刻を繰り下げることもあります。慌てずに試験会場に向かうことが大事です。

寝坊などによる遅刻で、試験開始時刻に間に合わなかった場合も、試験開始時刻後20分以内であれば受験が認められます（英語リスニングは試験開始時刻まで）。

なお、試験は指定された会場以外ではいかなる理由があっても受験できません。必ず、指定された試験場へ向かうようにしてください。同じ高等学校の生徒でも受験教科・科目数などにより別会場となることがあります。必ず自分の受験票に記載されている試験会場に向かいましょう。

急病（インフルエンザや新型コロナウイルス、風邪など）やケガにより、試験（2日間もしくはいずれか1日）を受験できない状況となった場合、受験票記載の「問合せ大学」に連絡をしましょう。受付期間・時間内に限り、追試験の受験を申請することができます。受付時間・申請方法はチェックリスト2の「受験上の注意」に記載されています。

〔追試験について〕

追試験は、以下に該当する事由により、本試験を受験できない場合に受験することができます。

- ・ 疾病・負傷により試験を受験できない者
- ・ 試験場に向かう途中の事故により試験を受験できない者
- ・ その他のやむを得ない事由（両親等の危篤・自宅の火災等）により試験を受験できない者

追試験は年1月29日（土）・30日（日）に実施され、試験会場は全都道府県に設定されます。

また、追試験の受験許可の単位は原則として2日分または1日分の教科・科目です。1日目または2日目において、1つの教科・科目でも受験した場合は、体調不良等の申出をした以降の教科・科目の受験が認められます。追試験の対象となるルールについては、「受験上の注意」で詳しく記載されています。

なお、新型コロナウイルス感染症等の対応については、「進路指導室351号」「進路指導室352号」を参考にしてください。

終わりに

この後、国公立大学への出願、私立大学受験と続きます。大学入学共通テスト後の「切り替え」が大切です。もし、不安な気持ちがあれば一人で抱え込まないようにしてください。

（文責：進路指導部 池本 邦彦）